５．１　データ登録の流れ

請け負った工事のデータ登録の流れを下記に示します。

工事発注者から『登録工事番号』をもらう

必ず最初に、発注者から『登録工事番号』を教えてもらってください。工事番号は、９桁（”7”から始まる８桁の数字＋１桁のアルファベット）の番号です。（例．70002600X）この番号がないと、工事の情報を更新することができません。

システムへアクセスする

インターネットを利用して、システムへアクセスしてください。（「４．１　建設発生土情報交換システムの起動方法」を参照）

『登録工事番号』を入力する

工事発注者より教えてもらった『登録工事番号』を、登録工事番号入力画面で入力することにより、請け負った工事の情報を更新することができるようになります。（「５．２　発注後情報［１］登録工事番号追加処理」参照）

情報の更新を行う

請け負った工事について、登録内容に修正・変更等があれば更新処理を行います。（「５．２　発注後情報［２］更新処理」参照）

施設情報の検索を行う

「ストックヤード」および、「土質改良プラント」の検索を行うことができます。（「５．３　施設情報」参照）